

【関連事項】

今回の結果は、「軟骨消失と痛み」について変形性股関節症でも下記の変形性膝関節症での報告と同様の関係にあることが示唆されました。

・ Bacon K et al. Does cartilage loss cause pain in osteoarthritis and if so, how much? *Ann Rheum Dis.* 2019;79:1105–1110.

600例の変形性膝関節症患者のMRIによる前向き研究の結果、軟骨消失と痛みは滑膜炎により修飾されるわずかな痛みを除いてほとんど直接の関係はなく軟骨保護が変形性膝関節症の痛みを軽減することを証明するのは実現不可能と思われた。

<https://ard.bmj.com/content/79/8/1105> (日本語訳可)

・ Hochberg MC et al. Effect of intra-articular sprifermin vs placebo on femorotibial joint cartilage thickness in patients with osteoarthritis: the FORWARD randomized clinical trial. *JAMA.* 2019;322:1360–1370.

軟骨再生医療である組換えヒト線維芽細胞成長因子 18、スプリフェルミンの変形性膝関節症における RCT 研究（無作為化比較試験）でスプリフェルミンは軟骨の厚さを増加させ、軟骨の損失を大幅に減少させたが、痛みは改善されなかった。軟骨保護を目的とした研究は、痛みに対する効果は期待できない可能性があることが提唱された。

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/31593273/> (日本語訳可)

・ Jones G. Pain in OA: is cartilage loss a major contributor? *Nat Rev Rheumatol* 2020; 16: 541–542.

[変形性関節症による痛み: 軟骨の損失が主な原因ですか?](#)

<https://www.nature.com/articles/s41584-020-0484-3> (日本語訳可)

変形性関節症の痛みは多因子であるが、X 線画像の特徴と症状の解離が痛みの理解を妨げている。新しい画像データは、痛みは関節のほぼすべての構造から生じ、軟骨の損失は痛みの症状にわずかな要因に過ぎないが、病気の進行には重要であることを示唆している。